

独自の特許工法と内製化による高品質な カーボンクラッドロールの製造

創業以来独自のロール製造技術にて大手印刷機メーカー向けに「銅クラッドロール」を納入する。この技術を水平展開し、平成2年にカーボンロール事業を開始する。徹底した社内品質管理体制のもと原材料から完成品まで一貫したロール生産体制を整えている。平成27年に内閣総理大臣表彰・第6回ものづくり日本大賞にて「優秀賞」を受賞した。以後、その卓越した技術で数々の表彰を受けた。平成31年には千葉県立現代産業科学館「伝えたい千葉の産業技術100選」に選出された。

●所在地 千葉県白井市内342-3

●電話/FAX 047-491-3041/047-491-3040

●URL <http://www.sunray-kouki.com/>

●代表者 代表取締役社長 津覇 浩一

●設立 1969年

●資本金 4,000万円

●従業員数 39人



外注加工の内製化による加工時間の大幅削減の実現

これまで外注加工で対応してきた金属加工部分の工程について、最新鋭の5軸加工機を導入し内製化を図った。これにより、加工時間を大幅削減し、利益率の向上につながった。また、加工時間の削減による生産効率の向上により、これまで以上の受注にも対応が可能となった。そして、これら取り組みが認められ、平成30年に千葉県ものづくり認定と、国立科学博物館における未来技術遺産に登録された。このように、内製化を図ったことによって、新しい展開へと進めていくことができるようになった。



工場内の様子

5軸加工機の有効活用による業務効率化

平成27年度ものづくり補助金を活用し、最新鋭の5軸加工機を導入して、外注対応していた工程の内製化を実現することができた。具体的にはカーボンクラッドロールの金属軸の内製化である。これにより、これまで14日要していた加工時間を5日と大幅に削減することができた。5軸加工機をフル活用することで短納期への対応が可能となり、業務全体の業務時間の平準化、効率化へとつながっていった。また平成29年度ものづくり補助金を活用し表面処理工程の内製化を図っているところである。



最新鋭の5軸加工機

女性の活用と社員に「任せる」ことができる環境づくりの実践

同社の製品はカーボンを使用することにより非常に軽く、女性でも持ち上げることが可能である。その為、工場の職人として女性3名を雇用している。そのメリットとして丁寧な作業による品質向上がある。また、従業員がしっかりと意見を言える環境づくりを心掛けている。社長自身も一緒に作業を行い、従業員をしっかりとフォローしていくことで、従業員に「任せる」こと、新しい市場に進出していくなど、に繋がっている。また、従業員と業務外のスポーツなどで交流することで、信頼関係を構築している。



同社の超軽量カーボンクラッドロール